

11月5～6日

## 釧路湿原自然再生協議会事務局 現地説明会

11月5日(木)、6日(金)の2日間、釧路湿原自然再生協議会事務局が主催した自然再生事業地の現地説明会が行われました。各機関の自然再生事業担当者が釧路湿原全体の自然再生事業箇所の実況を把握し、機関ごとの横の連携を密にすることを目的に開かれたものです。

5日は環境省の達古武地域自然再生事業地と当センターが行う雷別地区自然再生事業地を訪れ、事業の概要、進捗状況、課題等について担当者から説明を受け、意見交換を行いました。



達古武地域自然再生事業地（環境省）



達古武地域に造成された苗畑（環境省）



雷別地区自然再生事業地（林野庁）

6日は国土交通省が行う土砂流入対策事業箇所3箇所（沈砂池を設置し農用地から河川に流入する土砂を軽減）、国土交通省及び北海道が行う久著呂川土砂流入対策事業箇所2箇所、国土交通省が行う旧川復元事業箇所をそれぞれ見て回り、意見交換を行いました。



湿原と農地の境に設けられた沈砂池（国交省）



久著呂川の河道安定化対策実施箇所（道）



湿原流入部土砂調整地設置箇所（国交省）

当センターにとって、他の事業箇所の進捗状況、課題、モニタリング手法等を現地で確認することができ、有意義な現地見学会になりました。

（所長 中島）